

委託事業実施内容報告書

平成21年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体 特定非営利活動法人

国際日本語研修協会

1 事業の趣旨・目的

非漢字圏定住外国人の中には、自分の住所や氏名すら日本語で表記できない人も多い。
この現状を改善して、日本で安全に、安心して生活できる、日本語力の獲得を目指す。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	出席者	議題	会議の概要
平成 21 年 7 月 5 日	野村正徳,アグス博士 河原崎幹夫,椎名和男	日本語教室の運営方針と教授法・授業分担について	コースデザイン具体化と教授者・補助者へ指示
平成 21 年 7 月 26 日	アグス博士,椎名和男, 河原崎幹夫	学習者母語がイネ語であることの長・短所と教材活用策	仮名と漢検 10・9 級漢字習得の検証(非漢字系)
平成 21 年 8 月 1 日	アグス博士,椎名和男	読み書きができる府中生活 日本語教室の教材選定	日本語能力試験過去問と漢検問題集活用策
平成 21 年 8 月 23 日	アグス博士,椎名和男 河原崎幹夫	日本語能力試験 4 級過去問 活用テスト結果について	テスト結果分析と評価、 今後の授業への対応策
平成 21 年 9 月 13 日	アグス博士,椎名和男 河原崎幹夫	生活者家族の帰国後の研修生への指導法について	10 月以降の授業方針 策定会議
平成 21 年 11 月 15 日	椎名和男,河原崎幹夫 工藤隆司(アグス博士の交代出席)	日本語能力試験 3 級受験対策	日本語能力試験受験指導について

3 日本語教室の開催について

- ① 日本語教室の名称：「府中生活日本語教室」
- ② 開催場所：東京都府中市西原町 1 丁目-13-3 (株) 野村産業 社員食堂(研修室)
- ③ 学習目標：非漢字圏定住外国人に自分の住所・氏名も日本語で表記でき、日本で安全に、安心して生活出来る日本語力(日能試 3 級合格レベルの実力)獲得を目標とする。

④ 使用した教材・リソース

かな入門(河原崎幹夫編著), BAHASA JEPANG: インドネシア語版(椎名和男編著)

漢検 10 級, 9 級, 8 級教材, 日本語能力試験 4 級, 3 級過去問題集, 及び教師の作成プリント教材

⑤ 受講者の募集方法

府中市西原町在の(株)野村産業で働いている、インドネシアからの研修生グループに日本語を教えていた、今回の補助者、藤野達也さんと 2008 年 10 月から国立国語研究所に在外研究者として、来日中のアグス博士(インドネシア国立パジャジャラン大学日本語研修センター長: 椎名理事長の教え子)が府中市に滞在中で、文化庁の今回の計画に賛同協力していただき、研修生グループ 8 名とアグス博士関係生活者グループ 8 名の計 16 名が集まった。

⑥ 受講者の総数 16 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

⑦ 開催時間数(回数) 64 時間(授業 60H) 30 回(授業 29 回)

⑧ 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語(人)	教授者・補助者人数	内容
①	7 月 5 日(日) 13:00~16:00	3 時間	16 人	インドネシア国・インドネシア語(16 人)	教授者 3 人 補助者 2 人	開講式, 『かな入門』
②	7 月 11 日(土) 14:00~16:00	2 時間	16 人	同上	教授者 2 人 補助者 2 人	日語とイネ語の構文比較
③	7 月 12 日(日) 14:00~16:00	2 時間	16 人	同上	教授者 2 人 補助者 2 人	日語とイネ語の数字と計算
④	7 月 25 日(土) 14:00~16:00	2 時間	16 人	同上	教授者 3 人 補助者 2 人	漢検 10 級と日能試 4 級漢字
⑤	7 月 26 日(日) 14:00~16:00	2 時間	16 人	同上	教授者 2 人 補助者 2 人	日常生活必要漢字学習
⑥	8 月 1 日(土) 14:00~16:00	2 時間	16 人	同上	教授者 1 人 補助者 2 人	「暑中見舞い」を書く
⑦	8 月 2 日(日) 14:00~16:00	2 時間	16 人	同上	教授者 2 人 補助者 2 人	日能試 4 級過去問(文字・語い)
⑧	8 月 9 日(日) 14:00~16:00	2 時間	16 人	同上	教授者 3 人 補助者 2 人	日能試 4 級過去問の(聴解)
⑨	8 月 15 日(土) 14:00~16:00	2 時間	16 人	同上	教授者 2 人 補助者 2 人	日能試 4 級過去問(読解・文法)
⑩	8 月 16 日(日) 14:00~16:00	2 時間	16 人	同上	教授者 2 人 補助者 2 人	日能試 4 級過去問の(聴解)

⑪	8月23日(日) 14:00~16:00	2時間	16人	同上	教授者3人 補助者2人	日能試4級過去問(読解・文法)
⑫	8月29日(土) 14:00~16:00	模試 2時間	8人	同上	教授者2人 補助者2人	日能試4級模擬試験(文字語彙)
⑬	8月30日(日) 14:00~16:00	模試 2時間	16人	同上	教授者2人 補助者2人	同上 擬 試 (聴解・読解文法)
⑭	9月5日(土) 14:00~16:00	2時間	16人	同上	教授者3人 補助者2人	模擬試験結果発表 個々人への指導
⑮	9月6日(日) 14:00~16:00	2時間	16人	同上	教授者2人 補助者2人	日能試3級過去問(文字・語彙)
⑯	9月12日(土) 14:00~16:00	2時間	16人	同上	教授者2人 補助者2人	日能試3級過去問(聴解)
⑰	9月13日(日) 14:00~16:00	2時間	16人	同上	教授者2人 補助者2人	日能試3級過去問(読解・文法)
⑱	9月27日(日) 14:00~16:00	2時間	16人	同上	教授者3人 補助者2人	日能試3級過去問(文字・語彙)
⑲	10月3日(土) 14:00~16:00	2時間	7人	インドネシア国・インドネシア語(7人)	教授者2人 補助者2人	日能試2級読解授業
⑳	10月4日(日) 14:00~16:00	2時間	7人	同上	教授者2人 補助者2人	日能試3級過去問(文字・語彙)
21	10月11日(日) 14:00~16:00	2時間	7人	同上	教授者2人 補助者2人	日能試3級過去問(聴解)
22	10月24日(土) 14:00~16:00	2時間	7人	同上	教授者3人 補助者2人	日能試3級過去問(読解・文法)
23	10月25日(日) 14:00~16:00	2時間	7人	同上	教授者2人 補助者2人	日能試3級過去問(文字・語彙)
24	11月1日(日) 14:00~16:00	2時間	7人	同上	教授者2人 補助者2人	漢字語彙復習(3・4級)
25	11月8日(日) 14:00~16:00	2時間	7人	同上	教授者2人 補助者2人	日能試3級(助詞弱点補強)
26	11月14日(土) 14:00~16:00	2時間	7人	同上	教授者2人 補助者2人	日能試3級過去問(文字・語彙)
27	11月15日(日) 14:00~16:00	2時間	7人	同上	教授者3人 補助者2人	日能試3級過去問(読解・文法)

28	11月21日(土) 13:00~16:00	3時間	7人	同上	教授者2人 補助者2人	日能試受験個別指導
29	11月28日(土) 12:30~16:30	4時間	7人	同上	教授者3人 補助者2人	閉講式,日能試 受験上の注意
30	10月22日(木) 14:00~16:00	2時間		教授者・補助者の授業 連絡会議(於国際日本語 研修協会新宿事務所)	教授者3人 補助者3人 計6人	旅費のみ

⑨ 特徴的な授業風景 【添付資料】活動状況の写真 A4版 4枚

1. 【添付資料】(授業風景写真)第二ステージ9月5日～「読むのは得意,書くのは苦手」

この写真は来日後2年たっている,研修生が漢字を板書している姿である。

自分が働いている,会社名,会社の住所と寮の住所を漢字表記できなかったのみならず,もっと驚いたことは,8月1日の授業で,勤務先の社長宛に,「暑中見舞い」を書かせた時,横書きの時は,気にならなかったが,縦書きの場合,社長の野村さんの,「野」を一字と認識せず,偏の「里」の下に旁の「予」と書いたことである。研修生に聞いてみると来日以来,一度も日本人に日本語で手紙やはがきを書いたことがないとのことであった。これに比べ,生活者家族の府中小学校3年生(来日後8か月)の児童は得意な科目は「国語」と言うだけあって,読ませても書かせても日本人の同学年の児童と比べて遜色ない日本語力である。(この児童の父親は日本の国立名古屋大学で博士号を取ったアグス博士である。外国人子弟の日本語力はその家庭環境に大きく左右されていることの証左でもあらう。)

2. 2級読解の授業の時,「インドネシア人」を「インドネシアひと」と読んだ研修生がいた。「漢字は一字が一語であり,2字以上の漢字は音読みが原則である。」等の漢字音訓の原則を知らない研修生が多かった。「旅行」を「りようこう」,「出発」を「しっぱつ」,「登山」も「とうざん」と発音するなど,我々が解決しなければならない多くの課題発見の授業でもあった。

3. 【添付資料】(授業風景写真)9月12,13日～「親子そろってがんばっています」

この写真は元研修生で,日本人の奥さんと結婚して,今回は日本語能力試験2級を目指している野村産業の外国人正社員親子である。9月12,13日の日本語能力試験4級模擬試験では三分野とも満点であった。

4. 【添付資料】(授業風景写真)閉講式11月28日～「野村社長に感謝状を授与」

この写真の,感謝状の写しは添付してあるが,運営委員になっていただき,研修会場として,同社の社員食堂(研修室)を土曜日の午後使わせていただくのみならず,写真に写っている児童達のため,毎回,ジュースやお菓子を持ってきてくださり,生活者の母親達から大変感謝されていた。和気藹々と言うことば通り今回の,文化庁委託事業の「府中生活日本語教室」の成功は野村社長に負うこと大である。以上

⑩ 活用した日系人等(日本語を母語としない)の名簿

氏名	母語(国籍)	来日年(日)数	参加回数	当該教室での役割
アグス博士	インドネシア語 (インドネシア国)	2008 年 10 月 (365 日)	17 回	運営委員, 通訳, 学習指導

⑪ 支援者の名簿(⑦以外) なし

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

受講する学習者の母語が全員インドネシア語であること、生活者グループは日本の大学院で、博士号取得を目指す高学歴者の家族と、日本で研修生として3年間働く、20歳代の高卒男子で、滞日中に日本語能力試験 3 級以上を目指すモチベーションを持っている研修生グループで、教えやすかった。

受講生全員 3 級レベルの日常会話力を持っており、当初予定していた「国際交流基金開発 “すしテスト”の実施は中止することした。ところが、研修生グループは、自分が働いている、会社名、会社の住所と寮の住所を漢字表記できなかったのみならず、もっと驚いたことは、8月1日の授業で、勤務先の社長宛に、「暑中見舞い」を書かせた時、縦書きのはがきの場合、社長の野村さんの、「野」を一字と認識せず、偏の「里」の下に隣の「予」と書いたことである。研修生に聞いてみると来日以来、一度も日本人に日本語で手紙やはがきを書いたことがないとのことであった。それに比べ、9月末に帰国した、生活者グループ 8 名は日本の大学で日本語を使わなければ、論文作成に支障がでるという人や研究者の家族で、日本の小学校に通う児童であり、生活環境が第 2 言語習得に大きく影響することを再確認した。以下②の「学習者の習得状況」に譲る。

② 学習者の習得状況

- 1) 第1ステージ(7月初旬から8月上旬)は受講生全員が3級レベルの日常会話力を持っており、当初の計画通り順調な成果があげられ、「ひらがな、カタカナ、基礎漢字 50 字の読み書きと算用数字の日本式 4 桁読み(一、十、百、千)ができるようになった。」
- 2) 第2ステージ(8月中旬から9月下旬)では、日本語能力試験過去問使用により、第1日目、「文字・語彙」(椎名教授担当)、第2日目、「聴解」(河原崎教授担当)、第3日目、「読解・文法」(河原崎教授担当)を1クールとして、繰り返す授業とした。8月29・30の両日に日本語能力試験 4 級模擬試験を実施した。結果は三分野の合計得点は最高点(百点換算)が一名、満点で受験者全員が 70 点以上で全員合格した。

今回は個々人の学習上の困難点について教授者、金澤知美が全般と漢字語彙について、研修生については補助者、藤野達也が個別に指導した。生活者グループ 8 名については、アグス博士と補助者、広瀬清が個別に指導した。

3) 第3～第4ステージ(10月上旬から11月下旬)

今回の「府中生活日本語教室」の生活者グループ8名は、上述のとおり、インドネシア国立パジャジャラン大学日本語研修センター所長、アグス博士がご自分の家族と、インドネシアの他の国立大学教員家族であり、9月13日の運営委員会でアグス博士から9月末日に帰国せざるを得なくなったとのことであったので、10月22日新宿の国際日本語研修協会事務所における教員会議において今後は研修生対象の授業とすることや使用教材の再確認を行った。もともと、今回の「府中生活日本語教室」の最終目標は日本語能力試験3級レベルの日本語力、特に生活漢字(地域の固有名詞も含め)が読み書きできることであり、希望者には平成21年度日本語能力試験の受験を勧めることとした。幸い、(株)野村産業の野村社長はこの日本語能力試験の受験料を自社の研修生に提供して下さることとなり、これが大きな刺激策となり、研修生8名中、(他社の1名を除き)、野村産業の研修生7名が全員最終授業と閉校式まで出席した。

③ 日本語教室設置運営の効果、成果

今回の文化庁委託事業による「府中生活日本語教室」運営により、実質5か月60時間の集中日本語講座により、府中市在住インドネシア人に日本で安全に、安心して生活出来る日本語力(日能試3級合格レベルの実力)獲得に寄与・貢献できた。

④ 地域の関係者との連携による効果、成果

府中市西原町1丁目の野村産業株式会社は府中の本社工場のみならず、福島工場にもインドネシアからの研修生を受け入れており、研修生に対して、社長の野村正徳氏は慈父の様な優しさで接しており、今回の委託事業の成功の大半は同氏に負うところ大で、添付資料の「感謝状」のとおりである。

⑤ 改善点、今後の課題について(具体的に記述する。)

a. 現状

1)会場確保について

会場の確保の困難さは、この種教室の宿命でもあろうが、今回の「府中生活日本語教室」の場合は、研修生の研修先工場に確保できたことは僥倖とも言えるべきことである。

生活者家族グループは自転車を通える距離であり、研修生は工場裏手の寮から徒歩1分であった。

2) 受講者の教材費負担について

当初、受講者へのインセンティブ的な側面から、ノート代や漢字・プリント教材等は自己負担とすることを、運営委員会で協議の上で、実施したところ、インドネシアのアグス博士から「昨年来の経済危機以降、研修生等は以前には月十万円もあった、残業が無くなり、母国への送金が出来なくなっており、できれば教材プリント代は文化庁なり、国際日本語研修協会 IJEC にお願ひできないか」との強い申し出があり、結果として消耗品費の大幅な予算超過となった。日本人と違い、海外からの日本で働く日系人等は、一円でも多く自国へ送金したいと強い意欲を持っており、日本語教育関係者として、注意すべき点で

あると反省した。

b. 今後の課題

上述の2点等は、文化庁、地方自治体やNPO等関係団体等や一部篤志家の善意だけでは解決は難しいが、いわゆる、官民一体となって、「オール・ジャパン」として取り組む必要があると痛感にした。

c. 今後の活動予定、展望

私ども、国際日本語研修協会は、新宿区NPOネット協議会の一員として、区民の一割以上の在住外国人の、生活日本語力獲得のため、今回の「府中生活日本語教室」成果を活用して貢献致す所存です。

③その他参考資料

【添付資料】活動状況の写真 A4版 4枚

【感謝状】

【添付資料】

教師の作成プリント教材

- a) 府中日本語教室 読解文法 弱点補強教材 {H21. 11. 8用 河原崎幹夫教授作成} No.1～No.3
- b) SUUJI-NO YOMIKATA 日本語とインドネシア語算用数字の読み方表
注) 日本語は一,十,百,千の4桁ずつ繰り上がるが、インドネシア語は一,十,百の3桁ずつ繰り上がる。(欄外の注: 百兆以上はあまり使わないのでここまで)
{H21. 7. 12 用 椎名和男教授作成}
- c) 日本語能力試験3・4級漢字表 A42枚 金澤知美作成 H21・11・1&14 用以上

【添付資料】 活動状況の写真

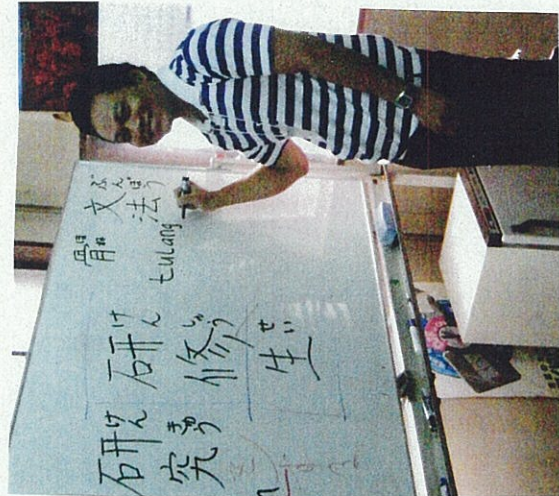
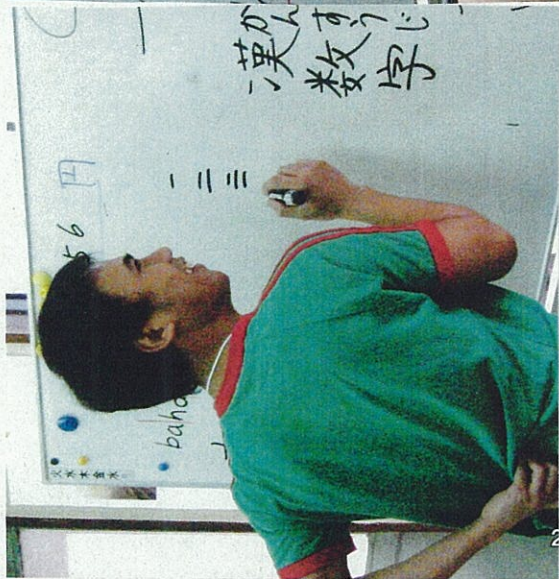
(開講式)7月5日～野村社長「他人より良い生活を望むなら一生懸命がんばれ!」。椎名理事長「生活に役立つ生きた日本語を一緒に学びましょう!」



(授業風景)第一ステージ7月11日～本格的に授業がスタート



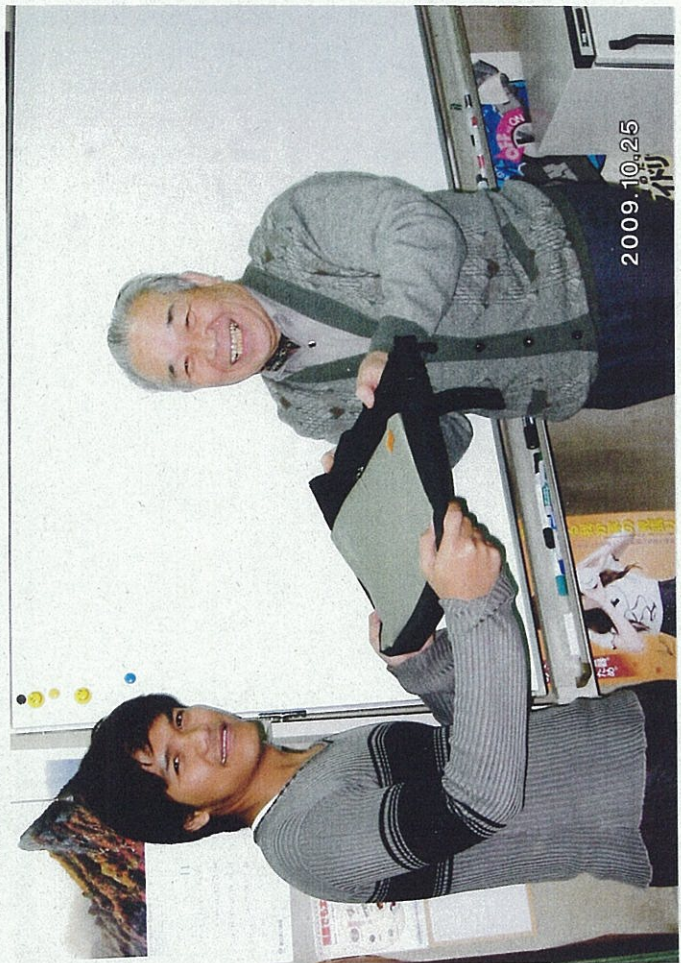
(授業風景) 第二ステージ9月5日～読むのは得意、書くのは苦手



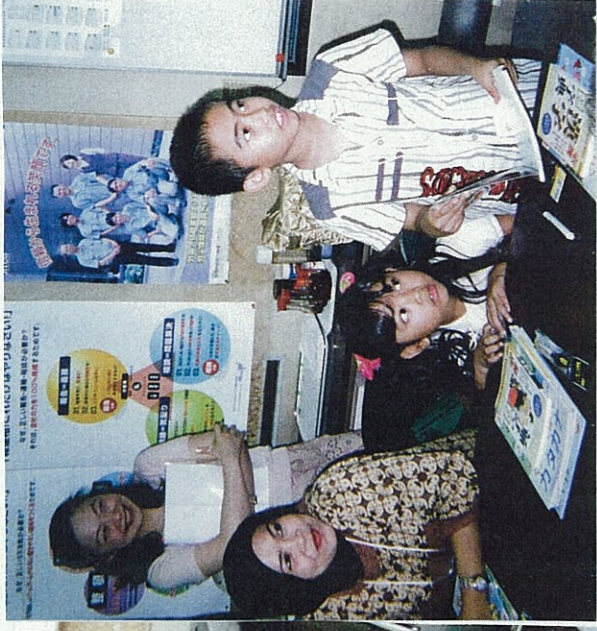
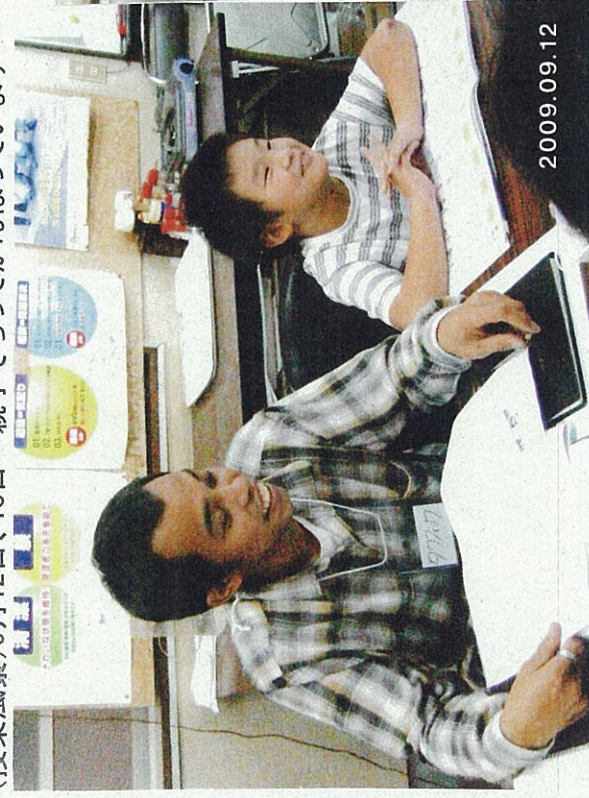
(模擬試験) 8月29日30日～本番と全く同じスタイルで実施



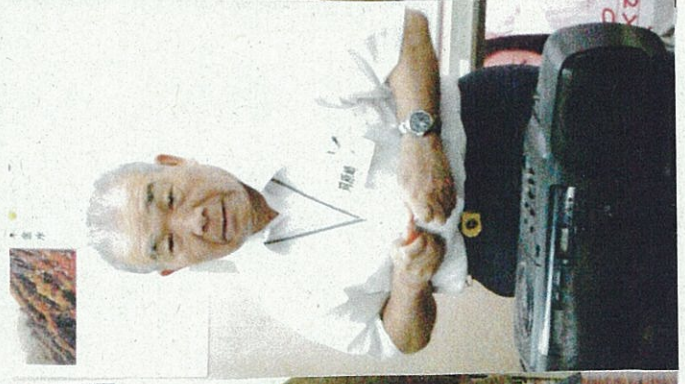
(成績優秀者にご褒美を授与)



(授業風景)9月12日、13日～親子そろってがんばっています

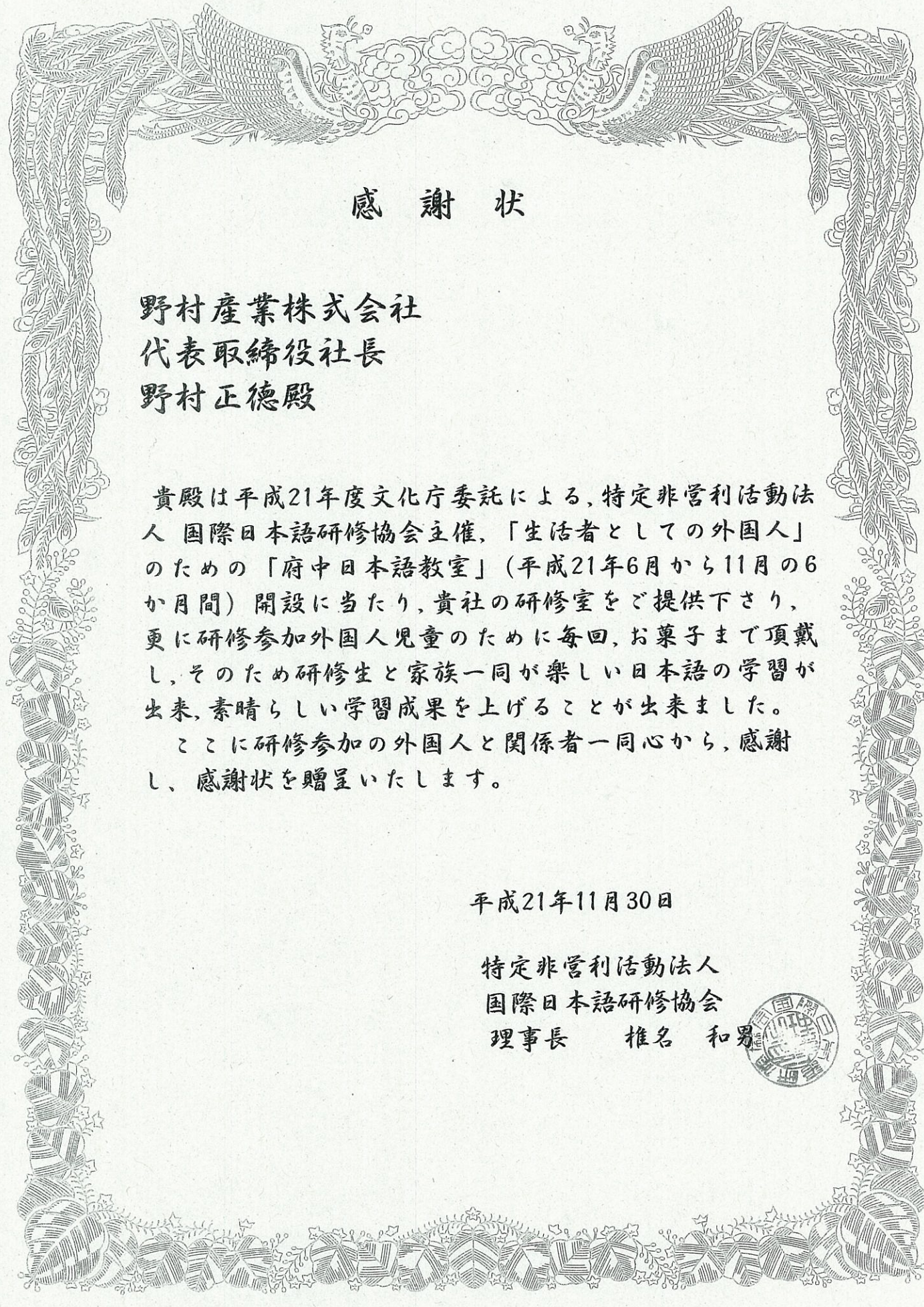


(受講者を支える講師、スタッフ陣)



(閉講式)11月28日 ~上段:協力者 野村産業株式会社 野村社長に感謝状を授与。受講修了の技術研修生とともに記念撮影
下段:7名の受講修了者に修了証を授与。受講者・講師陣揃っての記念撮影





感謝状

野村産業株式会社
代表取締役社長
野村正徳殿

貴殿は平成21年度文化庁委託による、特定非営利活動法人 国際日本語研修協会主催、「生活者としての外国人」のための「府中日本語教室」（平成21年6月から11月の6か月間）開設に当たり、貴社の研修室をご提供下さり、更に研修参加外国人児童のために毎回、お菓子まで頂戴し、そのため研修生と家族一同が楽しい日本語の学習が出来、素晴らしい学習成果を上げることが出来ました。

ここに研修参加の外国人と関係者一同心から、感謝し、感謝状を贈呈いたします。

平成21年11月30日

特定非営利活動法人
国際日本語研修協会
理事長 推名 和男



日本語能力試験3級助詞機能別問題

2009・11・3 M. KAWARAZAKI 作成
H21.11.8日用教材プリント

1

- 02-1-3 先生がいつくる（ ）していますか。
a. を b. が c. と d. か
- 03-1-5 この字はだれが書いた（ ）わかりますか。
a. か b. を c. が d. と
- 15-1-2 田中さんがどこにいる（ ）わかりません。
a. か b. は c. の d. を
- 17-1-2 小林さんはどこへ行った（ ）わかりません。
a. が b. の c. か d. を
- 18-1-1 バスが何時に来る（ ）わかりません。
a. か b. は c. の d. を
- 19-1-15 だれがこの本を書いた（ ）していますか。
a. は b. を c. か d. で
- 04-1-1 こんばんパーティーがある（ ）どうかおしえてください。
a. で b. を c. や d. か
- 06-1-10 あしたとしょかんがぁいている（ ）どうかしていますか。
a. が b. を c. に d. か
- 09-1-5 その友だちがあしたここへ来る（ ）どうかわかりません。
a. を b. か c. は d. が
- 13-1-9 パーティ何時からはじまる（ ）おしえてください。
a. か b. が c. を d. の
- 16-1-9 だれ（ ）まどをしめてください。
a. は b. が c. か d. に
- 17-1-9 だれ（ ）まどをしめてください。
a. は b. が c. か d. に
- 19-1-11 このりょうりはぎゅうにく（ ）ぶたにくを使います。
a. で b. も c. が d. か

2

- 05-1-1 どれ（ ）あなたのかぎですか。
a. は b. や c. を d. が
- 08-1-1 いつ（ ）いちばんひまですか。
a. は b. を c. が d. に
- 05-1-10 たばこはやめたほう（ ）いいですよ。
a. で b. に c. を d. が
- 03-1-2 りんごとバナナとどちら（ ）好きですか。
a. で b. が c. は d. と
- 08-1-6 あの人はりょうり（ ）とてもじょうずです。
a. の b. を c. が d. に
- 06-1-5 日本ではさとうよりしおのほう（ ）安いです。
a. が b. で c. は d. に

- 02-1-1 わたしはカメラ（ ）ほしいです。
a. が b. に c. と d. で
- 02-1-4 弟はせい（ ）たかいです。
a. を b. が c. で d. に
- 20-1-3 クラスであたらしい友だち（ ）できた。
a. と b. が c. を d. へ
- 06-1-14 この花、へんなにおい（ ）します。
a. が b. を c. で d. へ
- 06-1-6 このせっけんはいいにおい（ ）します。
a. で b. が c. の d. を
- 19-1-3 台所からいいにおい（ ）します。
a. と b. を c. に d. が
- 03-1-3 テレビのおと（ ）聞こえます。
a. を b. に c. が d. で
- 18-1-2 だれかのなっているこえ（ ）聞こえます。
a. を b. が c. のが d. のを
- 15-1-1 今、となりのへやでへんなおと（ ）しました。
a. を b. で c. に d. が
- 15-1-4 さっきとなりのへやで大きいおと（ ）しました。
a. へ b. で c. を d. が
- 09-1-15 このピアノはとてもいいおと（ ）します。
a. を b. の c. に d. が
- 16-1-13 空を鳥がとんでいるの（ ）見えます。
a. が b. を c. のが d. のを
- 13-1-8 田中さん（ ）くださったケーキを食べました。
a. を b. で c. が d. か
- 14-1-15 私は、田中さん（ ）おしえてくれたうたをうたいました。
a. を b. が c. で d. か
- 15-1-15 ともだち（ ）日本の本をおくってくれた。
a. を b. か c. が d. て
- 16-1-6 せんぱい（ ）私におみやげをくださいました。
a. が b. を c. で d. に
- 18-1-14 友だち（ ）そうじをてつだってくれた。
a. を b. に c. が d. で
- 13-1-5 あした10時からたいせつなかいぎ（ ）行われます。
a. を b. が c. に d. で
- 16-1-3 らいしゅうここでテニスのしあい（ ）行われます。
a. を b. が c. に d. で
- 19-1-9 さいきんでは日本のまんが（ ）いろいろな国で読まれています。
a. が b. へ c. に d. を
- 16-1-8 日本のおんがくはまだ聞いたこと（ ）ありません。
a. を b. に c. で d. が
- 16-1-15 おとしたさいふ（ ）あってよかったですね。
a. が b. に c. を d. の

No. 3

- 09-1-6 このバスはゆうびんきょくの前（ ）とおりますか。
a. で b. に c. へ d. を
- 17-1-6 としょかんの前（ ）とおるバスはどれですか。
a. へ b. で c. に d. を
- 20-1-2 このバスは大きなはし（ ）わたって、駅へ行きます。
a. を b. に c. で d. が
- 19-1-14 ひこうきが空（ ）東から西へとんで行きました。
a. を b. は c. で d. と
- 18-1-9 だれかにさいふ（ ）とられた。
a. の b. に c. か d. を
- 04-1-6 けさ、電車の中で足（ ）ふまれました。
a. の b. を c. へ d. か
- 15-1-12 弟にテープレコーダー（ ）こわされた。
a. を b. に c. へ d. と
- 17-1-7 きのうち買ったカメラ（ ）ぬすまれてしまいました。
a. で b. に c. を d. へ
- 16-1-12 私は母（ ）なかせるようなことはしたくない。
a. へ b. を c. に d. の

【添付資料】 椎名作成『BAHASA JEPANG BAGIAN I』JAKARTA DAN BANGUNG
29ページより抜粋 H21.7.12 用 敬 扶

SUUJI-NO YOMIKATA CARA MEMBACA ANGKA DALAM BAHASA JEPANG DAN BAHASA INDONESIA

NIHON-GO		SUU-JI	INDONESIA-GO	
ICHI		1	SATU	
JUU		10	SEPULUH	
HYAKU		100	SERATUS	
SEN		1.000	SATU	RIBU
ICHI	MAN	10.000	SEPULUH	RIBU
JUU	MAN	100.000	SERATUS	RIBU
HYAKU	MAN	1.000.000	SATU	JUTA
SEN	MAN	10.000.000	SEPULUH	JUTA
ICHI	OKU	100.000.000	SERATUS	JUTA
JUU	OKU	1.000.000.000	SATU	MILYAR
HYAKU	OKU	10.000.000.000	SEPULUH	MILYAR
SEN	OKU	100.000.000.000	SERATUS	MILYAR
ICHI	CHO	1.000.000.000.000	SATU	TRILYUN
JUU	CHO	10.000.000.000.000	SEPULUH	TRILYUN
HYAKU	CHO	100.000.000.000.000	SERATUS	TRILYUN

Karena hitungan yang lebih dari ini tidak banyak dipakai, latihannya sampai di sini saja.

№.1

	漢字1	例文	漢字2	
1	あう①	合う	安心	あんしん
2	会う	友達と会う。	安全	あんぜん
3	あく③	開く	案内	あんない
4	→	席が空く。	以外	いがい
5	あける	まどを開ける。	以下	いか
6	あげる	たこをあげる。	一日	いちにち
7	あげる	ものをあげる。	(五日)	(いつか)
8	あつい	夏は暑い。	一緒	いっしょ
9	熱い	熱い湯	一生懸命	いっしょうけんめい
10	厚い	厚い本	会う	あう
11	あめ	雨が降る。	会議(室)	かいぎ(しつ)
12	飴	飴をなめる。	会社	かいしゃ
13	いる	パスポートが要る。	会場	かいじょう
14	居る	人が居る。	会話	かいわ
15	うつす	友達のノートを写す。	家	いえ
16	移る	近くに移動。	家族	かぞく
17	うんてん(しゅ)	車の運転(手)	家庭	かてい
18	うんどう	運動をする。	家内	かない
19	おととい	おととい	切る	きる
20	おとし	おとし	切符	きっぷ
21	おりる	電車を降りる。	切手	きって
22	下りる	山を下りる。	気持ち	きもち
23	かえる	アパートに帰る。	気分	きぶん
24	変える	せいじを変える。	牛乳	ぎゅうにゅう
25	かける	①めがねをかける	牛肉	ぎゅうにく
26	②でんわをかける	②手どけ	教育	きょういく
27	③かべにえをかける		教会	きょうかい
28	④いすにかける		教室	きょうしつ
29	⑤おやにしんばいをかける		空	そら
30	かぜ	風	空気	くうき
31	風邪	風邪をひいた。	空港	くうこう
32	かみ	紙	警官	けいがん
33	髪	髪が長い。	警察	けいさつ
34	かわ	川/河	学校	がっこう
35	～がわ	～側	校長	こうちょう
36	きかい	機械	高校	こうこう
37	機会	日本に来る機会	中学校	ちゅうがっこう
38	たずねる	人に尋ねる。	小学校	しょうがっこう
39	訪ねる	友達の家を訪ねる。	高校生	こうこうせい
40	たてる	まっすぐ立てる。	中学生	ちゅうがくせい
41	建てる	ビルを建てる。	小学生	しょうがくせい
42	つく	大阪に着く。	交差点	こうさてん
43	つく	電灯がつく。	交通	こうつう
44	つける	電灯をつける。	交番	こうばん
45	つける	気をつける。	今年	ことし
46	漬ける	つものを漬ける。	今月	こんげつ
47	とる	席を取る。	今週	こんしゅう
48	撮る	写真を撮る。	今日	きょう
49	なおる	壊れたドアが直る。	今朝	けさ
50	治る	病気が治る。	今夜	こんや
51	とまる	車が止まる。	今晚	こんばん
52	泊まる	友達の家に泊まる。	今度	こんど
53	なく	小鳥が鳴く。	最近	さいきん
54	泣く	友達が泣く。	最初	さいしょ
55	なくなる	本が無くなる。	最後	さいご
56	亡くなる	人が亡くなる。(死ぬ)	さ来年	さいらいねん
57	はじめ	初めて会う。	さ来月	さいらいげつ
58	はじめる	授業を始める。	さ来週	さいらいしゅう
59	はな	きれいな花	時間	じかん
60	鼻	顔の中心に鼻がある。	～時間	～じかん
61	よく	スーパーによく行く。	時代	じだい
62	よくできる	日本語がよくできる。	時計	とけい
63			自転車	じてんしゃ
64			自動車	じどうしゃ
65			閉める	しめる
66			締める	しめる
67			社会	しゃかい
68			社長	しゃちょう
69			出席	しゅつせき
70			出発	しゅつぱつ
71			食事	しょくじ
72			食堂	しょくどう
73			食料品	しょくりょうひん
74			住む	すむ
			済む	すむ

最高
最低

出口
出る

76			*出口	でぐち
77	でる	出	家を出る。出かける。	でる
78	だす		お金を出す。	だす
79	たかい	高い	値段が高い。	みず
80			背が高い。	すいようび
81	ひくい		背が低い。	すいえい
82	やすい		値段が安い。	すいどう
83	~かい	1回	1回だけ	みずうみ
84		会	誕生日会・勉強会	いけ
85		階	私の部屋は3階	うみ・かいがん
86		できる	英語ができる。	かね
87			スーパーができる。	かわ
88	やさしい	易しい	この問題は易しい。	せんたく
89		優しい	あの人は優しい。	よごれる
90				わかす
91				いきる
92			生活	せいかつ
93			生活のものをつくりだす	せいさん
94			生徒	せいと
95			背	せい
96			背中	せなか
97			背広	せびろ
98			先月	せんげつ
99			先週	せんしゅう
100			先輩	せんぱい
101			先生	せんせい
102			大きい	おおきい
103			大勢	おおぜい
104			大好き	だいすき
105			大きな事件。大切にする。	だいじ
106			大丈夫	だいじょうぶ
107			重要なこと。丁寧に使う	たいせつ
108			大学(生)	だいがく(せい)
109			大使館	たいしかん
110			土地のことを表す。	ちず
111			山川海など土地の様子。	ちり
112			地下鉄	ちかてつ
113			手	て
114			手袋	てぶくろ
115			手紙	てがみ
116			手伝う	てつだう
117			電気	でんき
118			電車	でんしゃ
119			電灯	でんとう
120			電話	でんわ
121			~時*	~じ
122			時計*	とけい
123			時々*	ときどき
124			入る	はいる
125			入学	にゅうがく
126			入院	にゅういん
127			病院	びょういん
128			病気	びょうき
129			昼・昼間	ひる・ひるま
130			昼休み	ひるやすみ

	漢字1	例文	漢字2	
132	上	予約	予約	よやく
133	中	予習	予習	よしゅう
134	下	予定	予定	よてい
135		来年	来年	らいねん
136		来月	来月	らいげつ
137		来週	来週	らいしゅう
138		両手	両手	りょうて
139		両方	両方	りょうほう
140		両親	両親	りょうしん
141		旅	旅	たび
142		旅館	旅館	りょかん
143		旅行	旅行	りょこう
144		*最も	*最も	もつとも
145		用	用	よう
146		用字	用字	ようじ
147		用意	用意	ようい
148		留学生	留学生	りゅうがくせい
149		留守	留守	るす
150		文	文	ぶん
151		文法	文法	ぶんぽう
152		文章	文章	ぶんしょう
153		文化	文化	ぶんか